令 和 ４ 年 度
医療機器産業実態調査 【医療機器卸売業】の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、医療機器卸売業の経営実態を把握し、医療機器産業の健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査の対象

本調査の対象は、令和５年３月31日現在において医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき医療機器販売業の許可を受けて医療機器を販売している者のうち、日本医療機器販売業協会の企業会員を対象とした。

(3) 調査の内容

調査対象者の令和４年度分連結決算実績（原則、令和４年４月１日から令和５年３月31日までの間に行われた決算）を調査した。

(4) 調査の方法

調査票の記入により回答を求めることとし、調査票の配布・回収は厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課が行った。

2. 用語の解説

(1) 一次卸・一次卸以外の定義

一　次　卸：全売上高のうち卸売部門の売上高の占める割合が50%以上であり、そのうち、医療機器売上高の占める割合が50%以上で、かつ医療機器の総仕入高の50%以上をメーカーから直接仕入れている者

一次卸以外：上記以外の者

3. その他

(1) 各集計表においては、調査事項について一部未記入での提出企業もあるため、合計集計企業数等一致しない場合もある。

(2) 構成比は、小数点以下第２位を四捨五入したものであり、内訳合計と総計とは、一致しない場合もある。